

山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年1月19日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況 (暫定値) (令和6年数値は1月1日からの同期間数値)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	4	0	1	2	3	6
令和6年	14	4	0	4	8	16
前年同期比	-10	-4	1	-2	-5	-10

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	0	0.0%	0	0	0	0
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
	計	0	0.0%	0	0	0	0
中央アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	
南アルプス	1	25.0%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰	0	0.0%	0	0	0	0	0
その他の山岳	3	75.0%	0	1	1	3	5
計	4		0	1	2	3	6

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	0	0.0%	0	0	0	0	0
転倒	2	50.0%	0	0	2	0	2
病気	0	0.0%	0	0	0	0	0
道迷い	1	25.0%	0	0	0	3	3
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	0	0.0%	0	0	0	0	0
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0.0%	0	0	0	0	0
不明・他	1	25.0%	0	1	0	0	1
計	4		0	1	2	3	6

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
20代	0	0	0	3	3		0	0	0	0	0		3	
30代	0	1	0	0	1	80.0%	0	0	0	0	0	0.0%	1	66.7%
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
50代	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	1	0	1	100.0%	1	16.7%
60代	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
70以上	0	0	0	0	0	20.0%	0	0	0	0	0	0.0%	0	16.7%
計	0	1	1	3	5		0	0	1	0	1		6	
比率	83.3%						16.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
	発生なし					

山岳安全対策課からのアドバイス

先週、県内で山岳遭難の発生はありませんでした。
 昨年同期間と比べると-10件と減少傾向ですが、昨年の山岳遭難の発生状況を振り返ると、

- バックカントリー中の遭難
 - ・ 雪崩に巻き込まれ死亡
 - ・ 滑走中、道に迷い行動不能
 - ・ 滑走中、転倒して行動不能
 - ・ 悪天候により行動不能
- アイスクライミング中の転落遭難

が多発しています。

冬山は、一年で最も厳しい自然環境となり、冬山でしか味わえない醍醐味もありますが、事前の準備や計画がないまま入山することは、アクシデントに対応できず重大なリスクを伴います。登山では、「思い立ったが吉日」はやめましょう。

冬季は、救助に向かう側も時間を要するため、救助要請をしても場合によっては、数日間ビバークとなる場合もあります。アクシデントに備えた装備品を携行し、天候が悪化する場合や雪崩の危険性が高い日は、計画の中止や延期の判断を視野に入れて、安全を最優先とした行動をお願いします。